



2006 ~ 2007 年度
R I テーマ

LEAD THE WAY 率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム B. ボイド (国籍・ニュージーランド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	後藤 隆	役員	会 長	上妻 浩	S A A	木村きぬ糸
"	村津忠久	"	葉真寺草三		副会長	森 宗明	直前会長	平野英壽
"	溝部 仁				幹 事	近藤賢司		
"	梅津ヤヨイ				会 計	上妻 浩		

VOL . 19 - 11
2006 年 9 月 19 日

第 836 回 例 会

会報委員長 津末美代子

点 鐘 12:30
体 操 自律神経強化体操
R S それでこそロータリー
唱 歌 赤とんぼ
B. G. M 「宗次郎こころのうた」より
この広い野原いっぱい
花のメルヘン
若者たち 他

ゲ ス ト 大森満知子さん
(別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ顧問)
阿部智実さん
(別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ生)
廣田幸恵さん
(別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ生)

出席報告 委員長 後藤 孝弘

本 日 の 出 席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	15 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	8 名
	出 席 率	62.50 %
	出 席 率	62.50 %
	事後メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	0 名
9/5	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	95.83 %
連 続		- 回
通 算		- 回 100 %

会長の時間 会長 上妻 浩

明日、会長幹事会が開催されます。別府地区ロータリー事務局の寺山さんの退職に伴う補充の面接を会長4名で行う予定です。採用は10月2日からの予定となっています。

会長幹事会は玉ノ井ガバナー、明石ガバナー補佐と地区大会実行委員長の前岡氏も参加しての地区大会の準備の打合せのようです。10月10日までに、参加メンバーや細かいスケジュールもほぼ決定し、10月4日の合同例会もその準備がテーマになる予定です。

我がクラブはゲストのお迎えやご案内を担当することになっています。先日の理事役員会でも韓国からのゲストを福岡までお迎えする件が問題に

・メイクアップ

事前 河村 (別府東)
事後 桜田、小川、大島、吉富 (別府東)
欠席 平野、桜田、小川、大島、吉富、
葉真寺、高田、宮

なりましたが、運転手付の貸切バスを利用するのが、確認しておきます。

幹事報告 幹事 近藤 賢司

- 新世代のための月間 -

1. 本日の卓話
『韓国釜山海外研修の報告』
別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ生



2. 本日のゲスト

大森満知子さん(別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ 顧問)
阿部 智実さん(別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ生)
廣田 幸恵さん()

3. 委員会報告

社会奉仕委員会 村津忠久委員長より

4. お祝い

会員誕生日 大島由美子会員(9月23日)
ご自宅にワインが届きます。

5. 例会変更のお知らせ

日出RC 9月19日(火)の例会は、RC旗争奪少年野球大会主催の為 9月17日(日)8:00~黒岩グラウンドに日時・場所変更

別府北RC 9月20日(水)の例会は、観月家族会の為 同日18:00~ホテル白菊に時間変更

日出RC 9月26日(火)の例会は、クラブフォーラムの為 同日19:00~黒岩グラウンドに場所変更

湯布院RC 9月27日(水)の例会は、早朝例会の為 同日6:00~山崎グラウンド周辺に時間・場所変更

別府RC 9月29日(金)の例会は、第3回クラブ協議会の為 同日18:30~ホテルニューツルタに時間変更

別府北RC 10月4日(水)
別府東RC 10月5日(木)
別府RC 10月6日(金) }の例会は、
地区大会に向けての4RC合同例会の為 10月4日(水)12:30~ビーコンプラザ「国際会議室」に場所変更

6. 次週の予定 (*原稿をお願い致します。)

『会員卓話』 後藤孝弘会員
「会員コラム」 河村貴雄会員

7. 本日の回覧

「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金箱
大分県産婦人科医会より「おぎゃー献金運動」募金箱
「職業活動表彰及び職場例会」(10月24日例会) 出・欠席

8. 本日の配布

週報836号
「新世代のための月間」
鳴海淳郎R情報委員長

スマイルボックス

村津 忠久

上妻会員

インターアクトの皆さん、いらっしやい。本日はよろしくお祈いします。

近藤会員

つい先日の台風で強風の為、我が社、津久見店のシャッターがめくりあがり、私は別府にいて何も手伝うことができなかったのに、近所の商店主の方々が消防団と強風の中、土嚢を積んで被害を未然に防いでくれました。感謝！感謝！もひとつ感謝！

溝部会員

本学園高校の教員と生徒をお招き頂きまして厚く御礼申し上げます。

鳴海会員

本日はインターアクトクラブの生徒さん、よくいらっしやいました。歓迎してスマイル致します。

梅津会員

本日のゲスト、溝部学園大森先生、インターアクトクラブの阿部さん、廣田さん、ようこそいらっしやいました。どうぞ別府中央クラブをよろしくお祈い致します。

後藤(孝)会員

ようこそ、インターアクトクラブの大森満知子さん、阿部智実さん、廣田幸恵さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお祈いします。

木村会員

大森先生、おつかれ様。

阿部さん、廣田さんのお話楽しみにしています。これからも色々な事に挑戦して良い思い出をたくさんつくって下さい。

衛藤会員

台風一過、別府はあまり大きな被害もなく良かったですね。

今日は溝部学園の皆様ようこそ。お話を楽しみにしています。

後藤(隆)会員

大森先生、阿部さん、廣田さん、別府中央RCへようこそ。お話を楽しみにしています。

赤嶺会員

インターアクトクラブの先生、生徒の皆様ようこそ。9/23日、親睦ゴルフ、子供の運動会の為出席出来ずすいません。お詫びしてスマイル。



津未会員

先週の土曜日はトリニータの試合を見に行き、知事さんや大分市長さんと一緒に応援しました。負けましたけど、1位のガンバ大阪ですので仕方ありません。若手の選手は給料が安いのによくがんばって居ます。中央ロータリーの皆さんも応援して下さい。

亀井会員

今日の昼食の“わっぱめし”のにんじんが“もみじ谷”の紅葉の様に見えました。もうそろそろかな？

吉富会員

こんにちは、台風の被害はございませんでしたか？本日は法事の為、例会を欠席いたします。お詫びにスマイル。

村津会員

別府鶴見丘高校は、毎年秋、一気登山道を利用して全校登山を実施、今年で14年目になります。この秋は10月6日（金）が本番で、その為の下見登山が、先生方6名によって、今日行われております。夕方、下見の報告がありますが、先日の颱風13号による被害がない事を祈るばかりです。無事を祈念してスマイル。

委員会報告 社会奉仕委員長 村津 忠久

先週の例会卓話で、「NPO法人・別府もみじ谷トラスト機構」の設立手続きが出来ました事を御報告申し上げ、わがクラブの会員みなさんに、この法人の正会員になって頂けますようお願いしましたが、具体的な手続と致しまして、入会申込書への記名と、年会費 5,000 円の納入があります。その処理法等に就いては、次回理事会にお諮りして決定致しますので、よろしくお願い申し上げます。

このNPO法人設立請願に際しましては、わがクラブの会員全員が発起人となっておりますので、どうぞ会員全員の御加入を重ねてお願い申し上げます。

卓話 別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ

韓国釜山海外研修の報告

食物科 2年 阿部 智実

今回、インターアクトの韓国研修旅行に参加させてもらい、たくさんの事を学びました。言語の違い、食文化の違い、風習の違いなど、さまざまな日本と韓国の共通点、異なった点が発見できました。

まず、食文化の違いについてです。私が最初に思った事は、食卓やお店に並ぶキムチや漬け物が食べ放題という事です。本場のキムチは辛かったり、すっぱかったり、色々な味がありました。大根や日本でいうニラみたいなものもキムチ漬けにしていました。色々な食材の並ぶ国際市場にも行きました。まず、思った事は、食材の量が多い事です。水そうに入りきれないくらいの量のカニが沢山売られていました。こんな量、本当に売ってしまうのかなぁ...と不思議になりました。沢山の店が出ていて、それも同じ物ばかり店頭で並べていて、それにも驚きました。違う物を買えばもっと売れるのになぁと思いました。一番印象的だったのは、豚の頭を見た事です。初めて自分の目で見て、これはどんな料理になるんだろう...と思いました。主に海鮮類を売っている所があって、その場で食べる事も出来るので、新鮮な物をすぐ食べる事が出来て、いい所だなぁと思いました。

その他に、韓国の歴史のある所にたくさん行きました。古墳を見たり、実際に中に入ってみたり、石に触れたりしました。とても冷たくて、気持ち良かったです。お寺にも行き、韓国にも日本の京都みたいな所があるんだなぁと日本と似ているなぁと、改めて実感しました。

ホームステイの子と対面し、とてもおしとやかで、優しくするというのが第一印象でした。初めは、全然話せない状態だったけど、身振り手振りでなんとか気持ちを伝えました。歳も近かったので、すぐ仲良くなれました。家に着くとすぐトランプなどをして遊びました。

2日目は韓国の学校も見ました。韓国は男女別の学校が多く、ここは日本との異なった点だと思いました。外にバレーコートがある事にも驚きました。韓国の人は外でバレーをするんだなぁと思いました。日本の学校とは、さまざまな所が違って、こんな学校に行ってみたいなぁと思いました。

4日間という短い期間でたくさんの友達が出来ました。みんな日本が大好きで、一生懸命私たちに日本語で質問してくれました。そのわり、私はあまり言葉など勉強せずに韓国に行ってしまう、言葉がわからず困らせてしまいました。次回、もし行く機会があれば、よく使う言葉くらいは話せるようにして行くことが出来たらいいなぁと思います。

今回の旅行で、韓国の人たちと会話する事が一番出来ていなかったため、この反省を将来に役立



てたいです。

今回、この旅行に参加させていただき、ありがとうございました。

普通科(福祉)2年 廣田 幸恵

今回初めての韓国、初めてのホームステイという体験で、少し不安もあったけど、ロータリーの方々に親切にさせていただいたことに大変感謝しています。ありがとうございました。

ホームステイ先は、優しいホストファミリーと明るい友人が快く迎えてくれました。その瞬間不安がなくなり、期待が高まりました。言葉や文化の違いももちろんあったけど、言葉はお互い知っている簡単な単語を並べたり、ジェスチャーをして会話をしました。通じなくて困った時もあったけど、普通に話すときより、楽しく笑顔で話すことができました。文化の違いはお互いに教えあい、少しでも知ることができてよかったと思います。韓国の観光地へ行った時は日本と同じくらい美しい景色、気持ちのよい自然があり心が和む所もありました。観光している間に私が気づいたことは、博物館などの観光客が多く集まるところではバリアフリーになっていて、幼い子供からお年寄りの方までが楽しめる場になっていたことです。

その他にもホームステイ先の子と一緒に外出

し、韓国の街で買い物をしたり、外食したりしました。食文化も違ったけれど、うどん屋やマクドナルド、ロッテリアと日本にもある店も多くありました。

しかし同じ店といっても全てが同じというわけではありませんでした。マクドナルドとロッテリアは飲み物のメニューが少し違っていたり、コップが使い捨てではなくリサイクル出来るコップだったり、日本より環境に優しいところもありました。そんな、人にも環境にも優しい韓国へ機会があればまたホームステイをしたいと思いました。

本当にありがとうございました。



亀井 孝

会員コラム

“職人”と“マイスター制度”

ずーっと思っていた事を漠然と書いてみます。日本では近頃、“職人さん”という呼び方が、“職人”と呼び捨てられ、軽んじる様な風潮があるのではないのでしょうか？これは、日本国の敗戦後の教育(宗教観、家庭教育も含めて)の失敗ではないのでしょうか。すべての職業に於いて、その分野で優れた技術、技能を身につけ、一人前(一流)の仕事ができる人を“職人”と呼びます。“職人”になる為にはたくさんの年月を、修行と忍耐をもって働いて経験を積み、やっと手に入れる事のできる「称号」なのです。本来、尊敬されるべきものだと思うのです。

戦後日本は中身の無い学歴至上主義に踊らされ、子どもを無理をしても(本人の希望とは別に)大学まで進学させる風潮にあります。その結果、本人の意志のない仕事への就労、あげくはニートという事態になっているように思われます。

一方、ドイツにはプロの職人として、“マイスター”と呼ばれる公認の称号があります。ドイツの子どもたちは、12歳の基礎学習のうちに個々のもつ個性や能力を見極め、その後目指す職業についての適性や勉強、のみならず、社会における関わりを学び、15歳で就職していきます。日本においてはすべての評価につながる、「勉強がよ

くできる」ということも、ドイツではいろいろ能力、個性のひとつにすぎません。その為大学進学率は25%です。就職後も勉強期間であり、5年間の実務の上、専門学校で1年間の勉強、さらに資格試験を経てやっと“マイスター”になれるのです。一流企業と同等、もしくはそれ以上の社会的地位を約束されるものなのです。ですから、ドイツにおける社会組織のピラミッドは、日本のそれのように一つではありません。職業によっていくつも存在し、それぞれの価値観、能力を認め合う社会なのです。

有名幼稚園に入るために3~4才から塾に通わせ、幼稚園、小、中、高校、そして有名大学、それから、官僚、一流企業へ巣立つことが本当に子どもの幸せでしょうか。生まれてくる子ども達の全てが皆、その適性があるのでしょうか。個々の個性、能力を十分に発揮でき、日々の仕事を楽しく、誇りを持って生活できるような、“職人”“マイスター”を目指せる社会になって欲しいと思います。そうすれば、子が親を、親が我が子を殺めるような、昨今の未熟な社会は少しでもよくなっていくのではないのでしょうか。

次回は、河村貴雄会員です。